



各主体における取組状況について

(構成)

2-1 関係自治体における取組

- 小山市
- いすみ市
- 野田市
- 鴻巣市
- 我孫子市

2-2 国の関係機関における取組

- 関東地方環境事務所
- 関東地方整備局利根川上流河川事務所
- 関東地方整備局利根川下流河川事務所
- 関東地方整備局江戸川河川事務所
- 関東地方整備局荒川上流河川事務所

各主体における取組状況について
〈関係市における取組状況〉

- 栃木県 小山市
- 千葉県 いすみ市
- 千葉県 野田市
- 埼玉県 鴻巣市
- 千葉県 我孫子市

(以上、委員名簿順)

小山市における コウノトリ・トキに選ばれる地域づくり



小山市長 浅野 正富

2026.2.2(月) 関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会

渡良瀬遊水地とコウノトリ

田園環境都市 おやま

利根川中流域、小山市南西端に位置。栃木県・茨城県・群馬県・埼玉県の4県4市2町にまたがる本州以南最大のヨシ原を有する湿地(総面積3,300ha)



2025年誕生した
3羽のヒナ



撮影: NPO法人 わたらせ未来基金
青木 章彦 氏



人工巢塔に隣接する環境学習フィールド3

総会でのコウノトリに関する講演会
(2025年5月)



国土交通省への要望書の提出
(2025年9月)



千葉県我孫子市での
ジャパンバードフェスティバル2025

関東各地でのコウノトリの野外繁殖

田園環境都市 おやま



野田市にて誕生したヒナ



行方市にて誕生したヒナ



神栖市にて誕生したヒナ



撮影：NPO法人わたらせ未来基金 青木章彦氏

トキと共生する里地づくり取組地域 位置図



【コウノトリの生息環境・採餌環境整備】

- ・重機を使用した湿地のメンテナンス
- ・水田ビオトープの実施「江」の設置
- ・取水ポンプの設置、冬期湛水の実施



【本州でのトキの野生復帰・定着支援プロジェクト】

耕作放棄地 ⇒ 草地ビオトープ
生物多様性に配慮した水田へ

2024～2025年度、小山市生井地区の5か所で実施



各地での取組紹介

田園環境都市 おやま



トキと共生する里地づくり協議会 @新潟県佐渡市 (2025年11月)



NATIONAL RIVER SUMMIT

第33回

全国川サミット

in 小山・渡良瀬遊水地

ラムサール条約湿地「渡良瀬遊水地」の
賢明な利用（ワイズユース）
～川がっなぐひと・まち・こころ～

コウノトリ
オオセッカ
ハイロチュウヒ
ワシラセ
ツリチメンクワ

2026 5/29(金)・30(土)

トキ

関係者のみ 一般開放

会場

- 29 小山グランドホテル (小山市神鳥谷202)
- 30 小山市立文化センター (小山市中央町1-1-1)

第8回

全国オーガニック 給食フォーラム

in 栃木県小山市

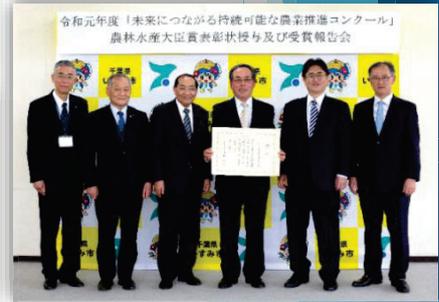
2026 7/25・26

オーガニック給食の成果

- ・ **有機農業者ゼロから4年で産地を形成**
- ・ 学校給食における残食の減少
- ・ イメージアップと認知度向上
- ・ 移住者の増加
- ・ 農産物のブランド化
- ・ 農業所得の向上
- ・ 新規就農希望者の増加
など



未来につながる持続可能な農業推進コンクール 農林水産大臣賞(2020)



辻静雄食文化賞(2020)



住みたい田舎ベストランキング発表! 田舎暮らしの本

2025年2月号 特別定価 990円

田舎暮らし

日本全国徹底調査!

2025年版 第13回

住みたい田舎ベストランキング

新たに移住者増の人気地ベスト100を追加!
人口別・世代別・エリア別&支援・制度など、移住に関する項目を細かく数値化!
「注目のまち」や「移住住みたいまち」がわかる独自データでランキングを発表!

あなたにとって
最良の移住先はどこ?

四国地方
DIY&セルフリノベの正解例

移住Project
転職・就業サポートが手厚いまち
長野県茅野市

表紙写真
ベストタウンとしても機能
安曇野の田園風景が誇る村
長野県松川村

いすみ市

幸せ、安心、笑顔あふれるまち いすみ

注目!

↑子育て支援も充実。市内に12校ある小・中学校の給食は、食の安全や食育にも配慮しており、オーガニックのブランド米「いすみっこ」を100%使用。新鮮なオーガニック野菜の使用も開始され、就農希望者の移住相談が増えている。

宝島社『田舎暮らしの本』2025年2月号、「2025年版 住みたい田舎ベストランキング」

環境に配慮した農産物のブランド化

いすみ市

子どもたちの未来を支えるお米



JAL国内線ファーストクラスのおもてなし
日本各地の名店プロデュース機内食



Japan Airlines adopted the rice as in-flight meals of first class (2016)
日本航空ファーストクラス機内食に採用



令和6~8年度、みどりの食料システム戦略緊急
対策交付金を取得し、一層の産地拡大を図る



自然の力をそのまま野菜に

いすみそだち

いすみそだち
野菜の主な特徴

●地域由来の資源
(堆肥や緑肥など)を
用いた上づくり

●栽培期間中における
化学合成農薬と
化学肥料の不使用
有機JAS規格で使用認められた
農薬を使う場合があります

●遺伝子組み換え技術
の不使用



認証マーク

「いすみそだち」は、自然と共生する里づくり連絡協議会(事務局:いすみ市農林課)が行う、いすみ市独自の認証制度です。有機JAS登録認証機関のご協力により、認証審査を行っています。

お問い合わせ先 いすみ市役所農林課有機農業推進班 TEL 0470-62-1515



自然の力をそのまま野菜に

2024.01.23 | ホームページを閲覧しました

公式HP

いすみ教育ファーム「田んぼと里山と生物多様性」

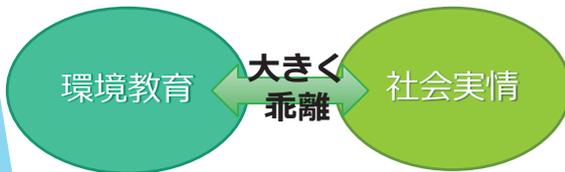
「環境」と「農業」と「食」を一体的に扱う教育プログラムを開発
一年間で30時限(15テーマ×2時限)を扱う



◆従来の教育

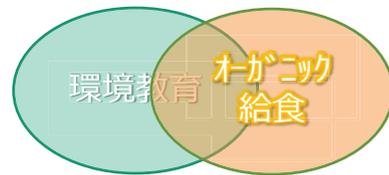
「環境教育」と「食育」と「農業体験」
が一体的に扱われていない

→農業の多面的価値を理解できない



◆いすみ市の食・農・環境教育

→健全な環境が、自身の健康と
健全な社会を保障している



生きもの調査指導者研修会の開催



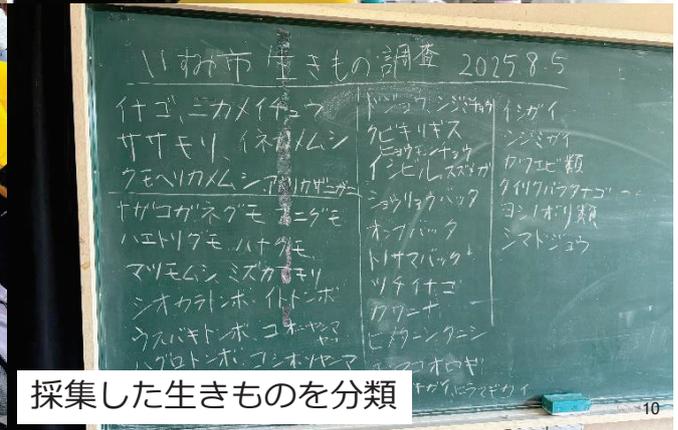
房総野生生物研究所
代表 手塚 幸夫 氏



講師
服部 謙次 氏(佐渡市環境アドバイザー)



教育ファーム対象校区で
生きものを採集



採集した生きものを分類

●テレビ

報道特集 TBSテレビ 有機農業の未来は？ 2022年9月17日放送

<https://www.youtube.com/watch?v=dahwfs13Mh8>

NHKスペシャル シリーズ食の“防衛線”第1回主食コメ・忍び寄る危機 2023年11月26日放送 <https://www.nhk.jp/p/special/ts/2NY2QQLPM3/movie/>

●映画

『いただきます ここは、発酵の楽園』オオタヴィン監督

https://www.youtube.com/watch?v=Xs8PUCO_zMc

『食の安全を守る人々』原村正樹監督

<https://kiroku-bito.com/shoku-anzen/>

『希望の給食—食と農がつむぐ自治と民主主義』香月正夫監督

<http://www.parc-jp.org/video/sakuhin/kyushoku.html>

『静かな汚染、ネオニコチノイド—浸透性農薬は〈いのち〉に何をもたらすのか？』山口勝則監督

<http://www.parc-jp.org/video/sakuhin/neonic.html>

『サステナ・ファーム トキと1%』川上敬二郎監督

https://www.tbs.co.jp/TBSDOCS_eigasai/

『夢みる給食』オオタヴィン監督

<https://www.mirai-lunch.jp/>

11

●YouTube

『有機米100%のオーガニック給食 千葉県いすみ市の挑戦』次代の農と食をつくる会 <https://www.youtube.com/watch?v=LkhFCFj1Of0>

『学校給食に地場農産物、有機農産物を導入した秘訣・工夫とは？』maffchannel(農林水産省)

<https://www.youtube.com/watch?v=8ubV4JjnPg8>

●書籍

『有機農業のチカラ コロナ時代を生きる知恵』大江正章 著 コモンズ

『有機農業はこうして広がった』谷口吉光編 著 コモンズ

『有機給食スタートブック』鶴理恵子・谷口吉光編 著 農文協

『いすみ市における有機米の学校給食使用と有機米産地化の取組に対する自己分析』鮫田晋

『致知 2025年11月号インタビュー 日本の明るい未来を創るオーガニック給食への挑戦 太田 洋』致知出版社

●受賞歴

令和元年度 未来につながる持続可能な農業推進コンクール（農林水産省）農林水産大臣賞

第11回辻静雄食文化賞（辻静雄食文化財団） 2020年

12



令和7年度 コウノトリをシンボルとしたまちづくり

野田市長 鈴木 有

第13回関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会

令和8年2月2日

2026/2/2

1

①新ペアの飼育・公開を開始



ミライ (メス)
(平成26年野田市生まれ)

(オス)
(平成25年多摩動物公園生まれ)

コウくん・コウちゃんの後継ペアとして
10月に多摩動物公園から移送・受入れ

2

ミライ(メス)

カナタ(オス)

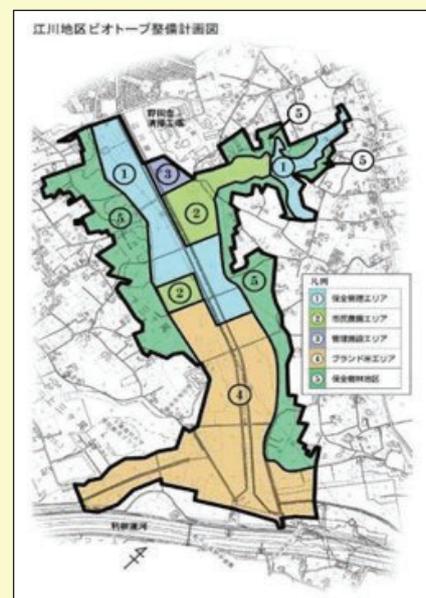
ペアのオス愛称: カナタに決定しました
(令和8年1月29日記者発表)

②江川地区が自然共生サイトに認定

市町村(野田市)主体での自然共生サイト申請



2026/2/2



②江川地区が自然共生サイトに認定

環境教育や地域連携の面で高く評価



貴重な生物が生息する谷津空間を有する江川地区



自然観察会



稲わらを使った講習



教育機関との連携



9月30日の認定式
(砂防会館)

5

③野外コウノトリペアの現在

ヤマト・ひなたペア



江川地区の人工巣塔(大谷津)で
仲良く過ごすペア

2026/2/2



東京理科大学が理窓会記念自然
公園に電柱上巢台を設置(5月)



自然公園内の池にもペアで飛来

8

③ 野外コウノトリペア の現在 ～採餌環境整備～



採餌場所の池周辺を市民と共に除草活動
(SDGsエコ作戦)

2026/2/2



池の面積を拡張
(令和7年度実施)

7



④ コウノトリをシンボルとした 生物多様性保全への取り組み

2026/2/2

8

子どもたちとの取り組み

福にっこりプロジェクトで
手作りのドライフラワーを寄附



関東エコネットの取組みとして...
小山市寒川小学校とのオンライン交流学习
(野田市福田第一小学校・福田第二小学校)

生物多様性コーディネーターの活動



2012年12月に「このとりの里」が開園して以降、約13年におたつて
コウトりの生態や魅力を伝えてくれた「コウくん」と「コウちゃん」
後継ペアの「ミライ」と「カナタ」に代わり、2025年10月下旬に準公開ケージ
へとお引越しをします。
今までに11羽の子どもを育てた、おしどり夫婦の歩みをハレル屋で振り返ります*

今後の開催イベント
「ありがとう!
コウくん・コウちゃん展」

2月27日から3月29日まで
「ありがとう! コウくん・
コウちゃん展」をこのとりの
里で開催予定です。

このとりフェスを開催
(8月17日)

2026/8/17



生物多様性コーディネーターの活動



企画「SDGsエコ作戦」
(月1回程度)



コウノトリボランティアの
会視察研修(コウノトリ交
流館、天空の里 など)



各種市民団体との調整・運営支援
情報発信 など

公式インスタグ
ラムでの情報
発信

2026/2/2

11

コウノトリで広がる関東エコネットの取り組み



人にもコウノトリにもすみやすい
まちをめざして...

12



埼玉県鴻巣市



人にも生きものにもやさしい
コウノトリの里 こうのす
の実現を目指して

鴻巣市長 並木 正年



鴻巣市・コウノトリの里づくり事業



コウノトリの紹介

令和4年1月29日 一般公開

空 (そら)

2003年3月17日誕生
J356

オス



メス



花 (はな)

2015年5月5日誕生
J532



コウノトリ野生復帰センター天空の里 開館4周年



有精卵の移動

令和7年3月28日



12日齢



24日齢



令和7年3月 東京都多摩動物公園より有精卵移動



大阪・関西万博2025 出展



令和7年5月 地方創生SDGs フェスin大阪・関西万博 出展



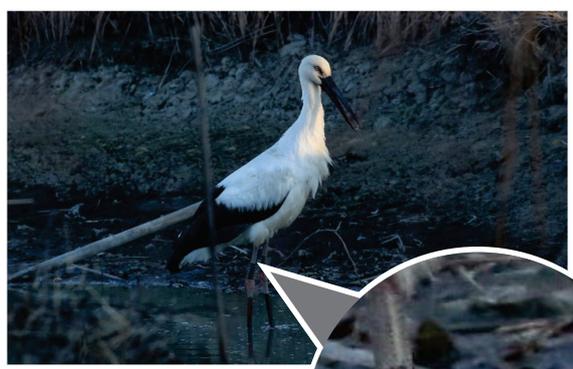
コウノトリ 市の鳥制定



令和7年10月1日 鴻巣市合併20周年記念 コウノトリを市の鳥に制定



コウノトリ飛来



個体番号 : J0949
孵化場所 : 茨城県神栖市
孵化年月日 : 2025年6月2日 (メス)



令和8年1月9日 (金) ・ 10日 (土) 鴻巣市内にコウノトリ飛来



埼玉県鴻巣市



ご清聴ありがとうございました

千葉県我孫子市

『未来につなぐ 心やすらぐ水辺のまち 我・孫・子』

市長 星野順一郎



我孫子市観光PRキャラクター
手賀沼のうなきちさん



水の館

鳥の博物館

鳥類を専門に扱う自然史博物館です。
世界の鳥の標本268点をはじめ、トキの剥製や絶滅した世界一の巨鳥エポオルニスの卵やジャイアントモアの骨格標本レプリカ等を展示しています。
ミュージアムショップでは我孫子市の鳥「オオバン」のぬいぐるみをはじめ、様々なグッズを販売しています。



ジャパンバードフェスティバル(JBF)



JBFの様子



「人と鳥の共存をめざして」をテーマに、鳥や自然を愛する人たちが一堂に会する、日本最大級の鳥の祭典です。
2025年は11月1日(土)、2日(日)に実施し、3万6千人が来場しました。



屋外会場



出店ブース
関東エコロジカル・ネットワーク



出店ブース
関東自治体フォーラム

谷津ミュージアム

手賀沼沿いで最も谷津の地形と自然環境が残されている約36.7haをまるごと保全し、かつての農村環境の保全・回復を目指す「谷津ミュージアム事業」。
ヘイケボタルやニホンアカガエルなど2000種以上の多様な生物が生息しています。



市民との協働による環境保全

谷津ミュージアムでは市民の方と協働で谷津環境の保全活動や自然観察会などを行っています。



コウノトリの飛来記録



2004年12月～2005年3月にかけて、我孫子市北部の水田地帯に飛来。



2019年1月7日～1月20日にかけて、2016年野田市放鳥の「きずな」が飛来。



2018年8月下旬～9月上旬にかけて、2018年野田市放鳥の「きらら」が飛来。

各主体における取組状況について
〈国の関係機関における取組〉

- 関東地方環境事務所
- 関東地方整備局利根川上流河川事務所
- 関東地方整備局利根川下流河川事務所
- 関東地方整備局江戸川河川事務所
- 関東地方整備局荒川上流河川事務所



トキ野生復帰の状況について

第13回関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会
(令和8年2月2日)
関東地方環境事務所

トキ野生復帰の歴史 飼育下から野生下へ



友友と洋洋



キン (飼育下)



第1回放鳥



野生下初ヒナ誕生



野生復帰ステーション

1946 1959 1975 1981 1999 2003 2008 2012 2014 2016 2019 2022

佐渡島で住民による給餌活動開始

トキ保護増殖事業開始

トキ保護増殖事業移管

(文化庁 ↓ 環境庁)

野生下5羽捕獲 (野生絶滅)

中国から友友と洋洋が贈呈

国内初の人工繁殖成功 (優優誕生)

キン死亡 日本産トキ絶滅

佐渡島でトキの放鳥を開始

野生下でヒナ誕生

トキ60羽定着

野生下で純野生トキ誕生

野生絶滅から絶滅危惧IA類に

トキ500羽定着

トキと共生する里地づくり

取組地域選定

野生復帰



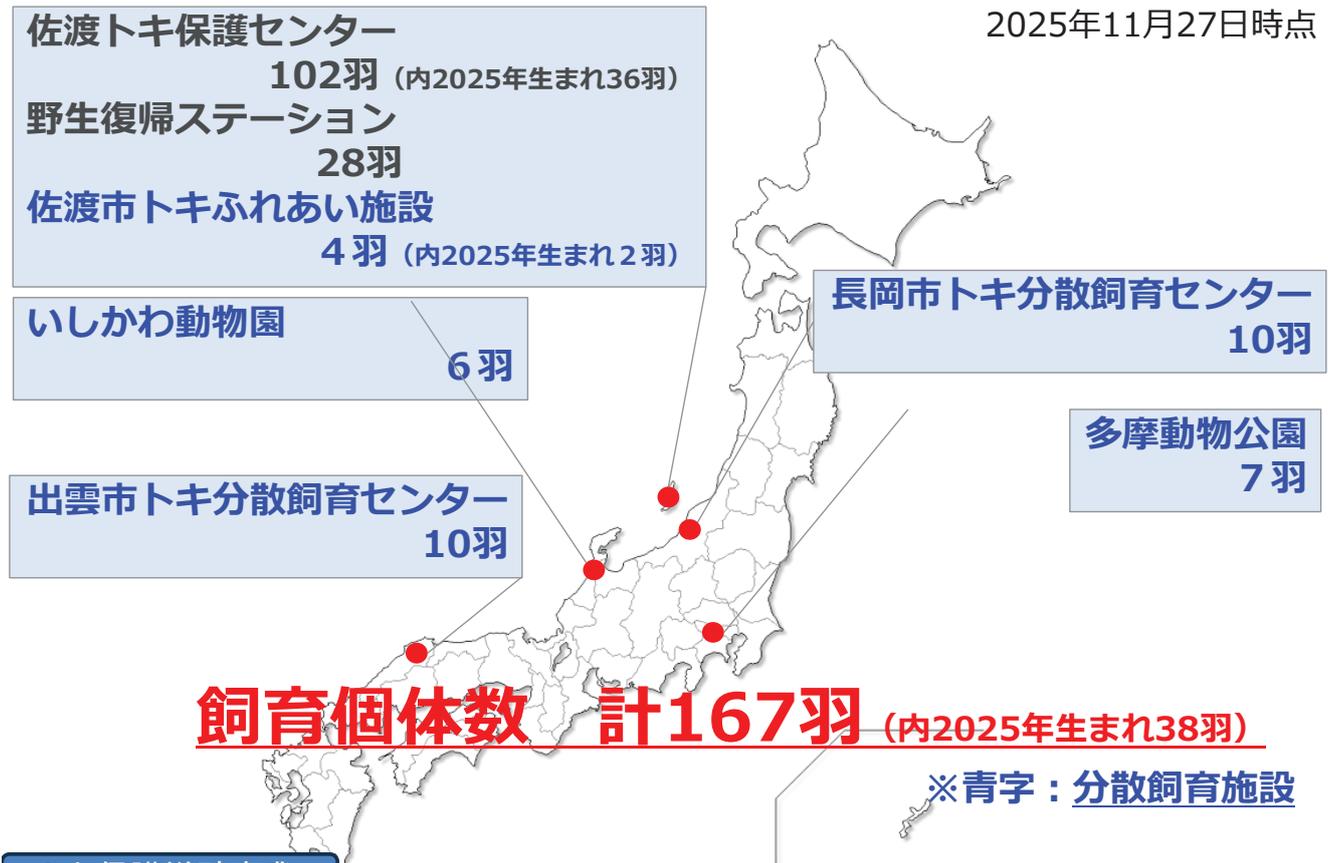
佐渡におけるトキ野生復帰の取組



トキ保護増殖事業

飼育・繁殖

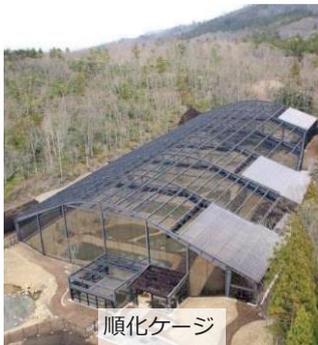
2025年11月27日時点



トキ保護増殖事業

訓練 放鳥

- ・ トキが野生下で生きていくために必要な能力を身につけさせる訓練施設として、2007年に野生復帰ステーションを設置。
- ・ 2008年に放鳥を開始し、2025年6月末までに計32回で延べ530羽を放鳥。



期間:約3か月

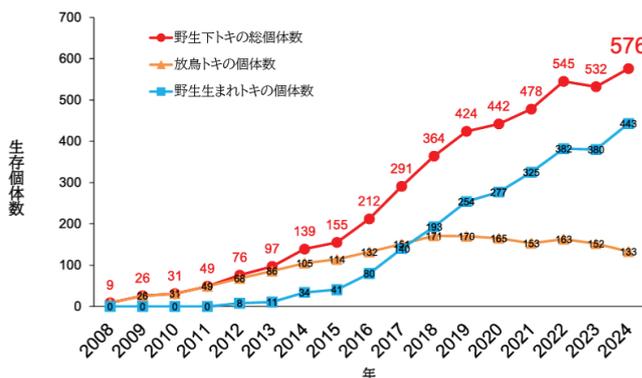
放鳥は年2回が基本



トキ保護増殖事業

佐渡島における野生復帰状況

※2019年以降はIPM(統合個体群モデル)による推定値
 ※2019年は10/23時点。2020年・2021年は9/29時点。2019～2021年以外は12月31日時点

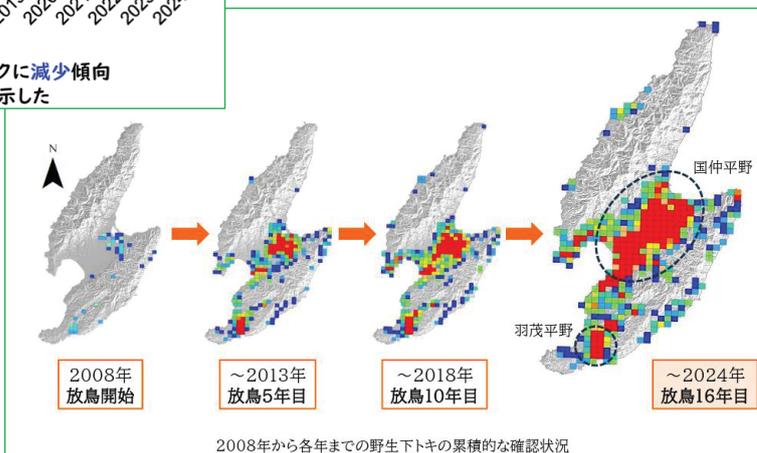


放鳥個体は2018年の171羽をピークに減少傾向
 野生生まれ個体は増加傾向を示した

初放鳥から17年、佐渡島内でのトキの個体数は順調に増加し、分布は広がっている

野生下個体数：
佐渡576羽
 (2024年末、推定値)

今後、複数の地域個体群を構築するため、本州での分布拡大を目指す

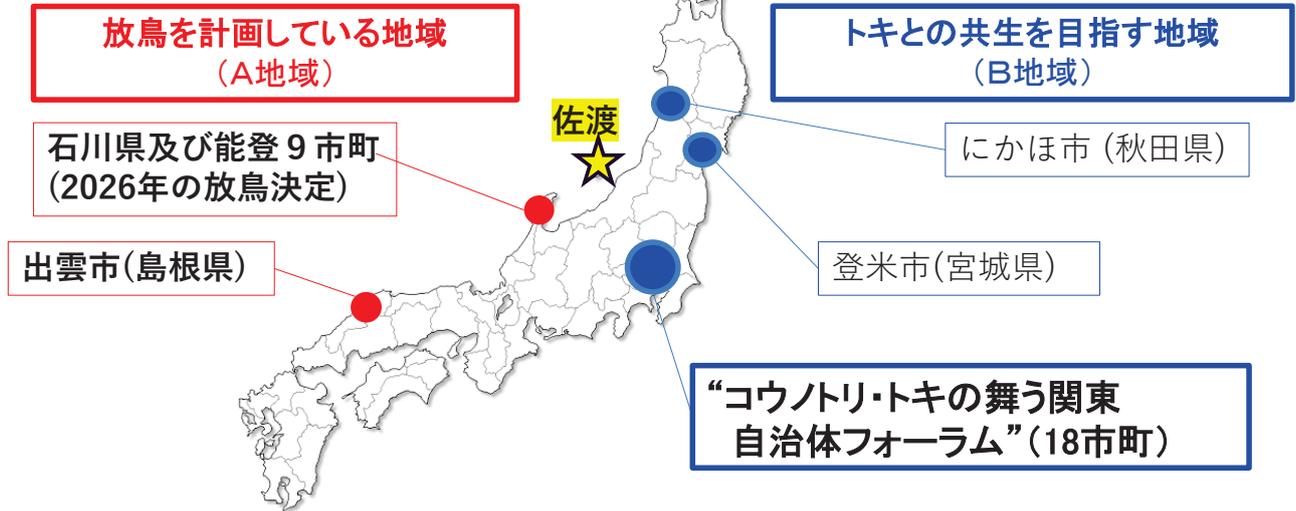


2008年から各年までの野生下トキの累積的な確認状況

トキ保護増殖事業

トキ野生復帰のこれから：佐渡から本州へ

2022年 本州で「トキと共生する里地づくり」に着手
トキが生息できる生息環境・社会環境の整備
本州での定着、生息拡大を目指す



トキ保護増殖事業

トキ野生復帰：能登地域での本州初放鳥

「能登の創造的復興のシンボルとして、「トキが舞う能登」を実現する」



トキ本州初放鳥

放鳥日：令和8年5月31日(予定)

場所：石川県羽咋市(南潟地区)
(石川県及び能登9市町)

生息環境整備の取組

- ・能登9市町にトキ放鳥推進モデル地区を設置し、水田に餌生物を定着させる江や魚道等の整備
- ・餌生物の生息状況調査による効果の検証

社会環境整備の取組

- ・自然環境や生物多様性の保全の重要性について学び、考える契機とするため、5月22日を「いしかわトキの日」に制定

(能登地域トキ放鳥受入推進協議会HPより)

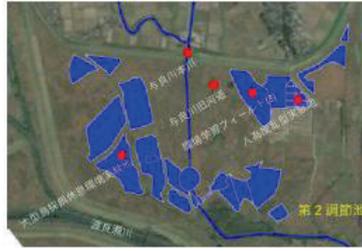
トキ保護増殖事業

R7 (2025) 年度 渡良瀬遊水地エリアにおける取組 (利根川上流河川事務所) ～ 2030年・中期目標に向けた「アクションプラン」の推進 ～

◆2015年11月に設立された「渡良瀬遊水地エリア エコロジカル・ネットワーク推進協議会」(事務局:利根川上流河川事務所)は10年が経過し、エリア内10市町の関係者とともに「アクションプラン」に基づく取組を進めてきている。シンボルであるコウノトリが野生絶滅以降では東日本初の繁殖が2019年に実現し、**2025年まで6年連続で繁殖するなどの成果**が得られている。



第2調節地内のコウノトリ (2025年11月・青木章彦氏撮影)



遊水地内の湿地創出



遊水地内の餌生物調査

**渡良瀬遊水地エリア
エコロジカル・ネットワーク形成
アクションプラン**

令和6年10月

渡良瀬遊水地エリア エコロジカル・ネットワーク推進協議会
渡良瀬遊水地エリア検討部会

- ◆2024年10月に関東エコ・ネットの基本計画・改訂版との整合を確認しつつ、新たな「アクションプラン」として改定し、**2030年・中期目標達成を目指す取り組みを推進**している。
- ◆「アクションプラン」では、基本理念である「トキやコウノトリ『も』舞う魅力的な地域づくり」を掲げ、R12(2030)年を「中期目標」達成年に設定し、渡良瀬遊水地が条約湿地として登録されている特色を取り入れてラムサール条約の3つの理念(「保全・再生」、「賢明な利用(ワイズユース)」、「交流・学習」)に沿った目標やプログラムを設定している。



R7 (2025) 年度 渡良瀬遊水地エリアにおける取組 (利根川上流河川事務所) ～ 2030年・中期目標に向けた「アクションプラン」の推進 ～

- ◆「アクションプラン」では、10項目のプログラムの中から関係者間で連携し重点的に取組む7項目の「重点実践プログラム」を抽出している。
- ◆今年度は各自治体の取組状況についてアンケートやヒアリングを実施し、**交流・学習に関わるプログラムが多く進められている**ほか、コウノトリの飛来が多くみられる地域を中心に**湿地整備や救護・事故防止の取組も進みつつある**ことが確認できた。
- ◆現時点においては各自治体がそれぞれ独自で取組を行っているため、連携の促進や情報共有、エリア内の特徴に応じた地域ごとの指標種の設定等を協議する「報告会」を2～3月に開催予定としている。
- ◆6年連続のコウノトリ繁殖成功は保全・再生や交流・学習などの各テーマのプログラムによる一定の成果と考えられ、これを継続・推進するための事務局の在り方についても今後検討する予定である。



小山市のふゆみず田んぼ

テーマ	3つの目標(※抜粋)	10項目のプログラム	重点実践プログラム(※抜粋)	
			7項目	実施10主体(市町)
保全・再生	湿地環境等の改善や創出が流域一体で進められ、河川と水田がつながることで多様な生きものが豊富に生息している。	①現状把握		
		②治水と一体化した生息環境整備		
		③生物多様性の豊かな生息環境整備		
		④流域一体での整備	1) エリア一体となった湿地環境の整備・保全	4
		⑤営巣環境づくり		
		⑥救護・事故防止への対応	2) 救護・事故防止等対策の推進	4
ワイズユース(賢明な利用)	エリアならではの数多くの地域資源を渡良瀬ブランドとして国内外に発信している。	①農地等の賢明な利用によるコウノトリと共に暮らす地域づくり		
		②コウノトリ・トキをシンボルとした地域振興・経済活性化の推進支援	3) 渡良瀬遊水地エリアの多様な生物・特産物等をシンボルとした商品開発の支援	6
交流・学習	コウノトリ・トキと共にくらせる地域を誇りとし、持続可能で魅力ある地域づくりが進められている。	①多様な主体参加の仕組みづくり	4) コウノトリやトキ等とともに暮らす地域学習プログラムの実施	8
			5) 情報の共有・発信の実行	7
			6) コウノトリ目撃情報の収集と活用	5
			7) 関連施策に資する活動を担う組織づくり	7
		②プロジェクトの継続・発展に向けた仕掛けづくり		

利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会取り組み報告

- ・利根川下流域では、3市1町（茨城県神栖市、千葉県銚子市、千葉県香取市、千葉県東庄町）のエリアを対象に平成25年から自然再生事業を実施しており、5地区の自然再生地が整備され、多様かつ貴重な生物が生息する良好な環境が形成され、近年はコウノトリの飛来・繁殖の増加傾向が見られている。
- ・自然再生地では、各自然再生地の特徴を生かした環境学習を令和3年より地元中学校と実施し、体験内容の発表や近隣住民への周知を目的としたシンポジウムを令和元年から実施している。
- ・この取組を地域づくりとして更に発展、進化させ連携強化を図るため、令和7年3月に「利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会」を設立した。



利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会 対象地域



第1回利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会 開催状況
(令和7年3月27日)



取組推進の仕組み



利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会 検討スケジュール

利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会取り組み報告

取組み①：アクションプラン策定に向けた活動

・令和8年2月16日(月)開催予定の第2回利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会での「アクションプラン」策定を目指し、対象地域の3市1町の担当者を交えて勉強会を2回、現地見学会を1回開催した。
なお、遠方の自治体を考慮し、勉強会は対面とwebの併用とした。

■第1回勉強会

- ◎日時：令和7年9月18日(木) 15:00~17:00
- ◎場所：利根川下流河川事務所(対面、web併用)
- ◎参加者：茨城県神栖市、千葉県銚子市、千葉県香取市、千葉県東庄町、茨城県、千葉県、利根川下流河川事務所、関東地整河川環境課



■現地見学会

- ◎日時：令和7年11月12日(水) 10:00~16:30
- ◎場所：各自治体管轄内の特色ある箇所(自然再生地、観光地など)
- ◎参加者：茨城県神栖市、千葉県銚子市、千葉県香取市、千葉県東庄町、利根川下流河川事務所



■第2回勉強会

- ◎日時：令和7年12月12日(木) 13:00~15:00
- ◎場所：利根川下流河川事務所(対面、web併用)
- ◎参加者：茨城県神栖市、千葉県銚子市、千葉県香取市、千葉県東庄町、茨城県、千葉県、利根川下流河川事務所、関東地整河川環境課



取組み②：環境学習の拡大、シンポジウム開催

・令和3年から開始した地元中学校を対象とした環境学習を、今年度は利根川下流域エコネット・地域づくり推進協議会の対象地域である3市1町(神栖市立波崎第二中学校、銚子市立銚子西中学校、香取市立香取中学校、東庄町立東庄中学校)で実施した。
・学習内容の発表の場として「第7回利根川下流域自然再生シンポジウム in 香取」を令和8年2月6日(金)に開催予定である。

R7年度環境学習 開催状況



座学(香取中学校)



野鳥観察(波崎第二中学校)



第7回利根川下流域自然再生シンポジウム in 香取

R6年度シンポジウム 開催状況



基調講演



環境学習 中学生発表



パネルディスカッション

エコネットエリアの概要



令和7年度 利根運河周辺エリアにおける 取り組み報告

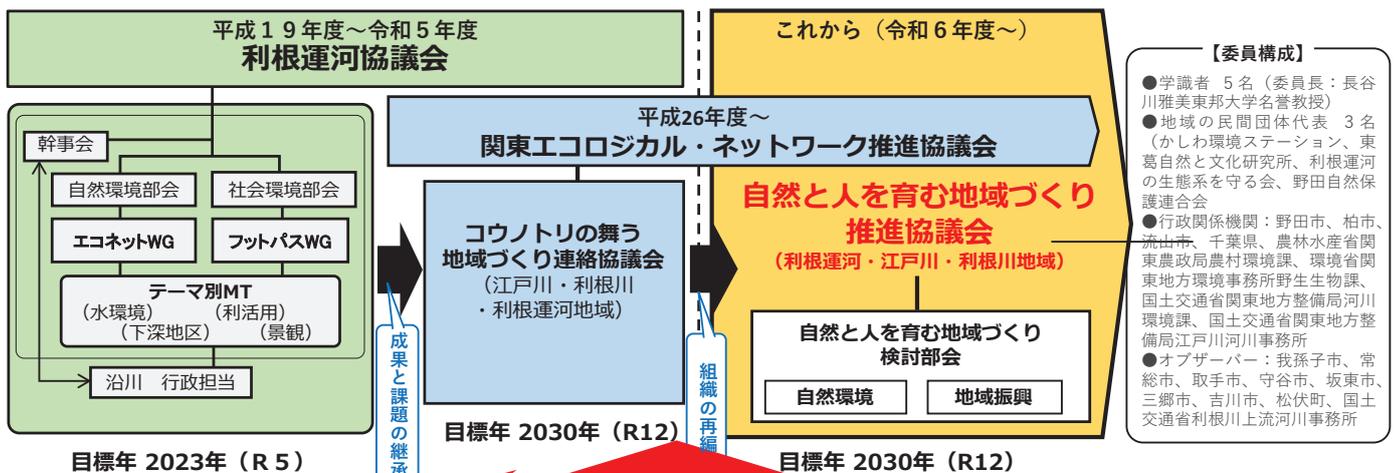


自然と人を育む地域づくり推進協議会（利根運河・江戸川・利根川） 【事務局】江戸川河川事務所

掲載した内容は、次回推進協議会（R8.2）にて報告・審議する予定でとりまとめ中の現時点案の情報です

1. 組織再編と推進協議会の開催

- 令和6年度に「自然と人を育む地域づくり推進協議会（利根運河・江戸川・利根川地域）」として再編。旧利根運河協議会（令和5年度末に15年の取り組みを終了）」の課題と成果を、利根運河周辺エリア協議会「コウノトリの舞う地域づくり連絡協議会（平成26年度設立）」に引き継いで再編しました。
- 年に1回「自然と人を育む地域づくり推進協議会（利根運河・江戸川・利根川地域）」を開催。



利根運河協議会が地域で果たした役割は大きかった！課題だけでなく成果も継承する

再編にあたっての思い (ほんの一部)
コウノトリだけじゃない！生物多様性保全のため協議会名から「コウノトリ」はとってみよう

地域振興に重点的に取り組む！という思いを協議会名にも込めたい

次代を担う世代につなげたい！「育成」を連想することば協議会名に入れたい

利根運河・江戸川・利根川！このエリアで取り組みを進めるため3つの河川名が入っているのが大切

2. 令和7年度の取り組み概要（主な活動結果）

利根運河周辺エリアの **令和7年度の地域振興の取組** として **民間企業の周遊イベントに協議会の取組を合わせた周遊イベントを開催**しました。

東武トップツアーズ（株）さんの開催している「東武健康ハイキング」を柱として活用し、協議会として自治体や大学による取組紹介、自然保護団体による活動紹介、事務局によるルートガイド、スポット参加として地域の市民イベントなど、同時開催で地域一体となったイベントを開催しました。



- 東武健康ハイキングを活用し、地域振興、協議会の取組の認知向上、活動の情報発信、地域の魅力向上を目的としたイベントを開催しました。
- 参加者に向けて、地域イベントの同時開催や、協議会会員によるガイドを実施、自然・歴史の解説等により地域の魅力をPR。
- 周辺店舗の売上げ増加等、一定の経済効果も得られているようだ。

推進協議会 地域振興検討部会では、にぎわいづくり地域振興に向けた取り組みについて協議を進めています。

東武健康ハイキング 利根運河

自然保護団体 活動紹介

野田市さんカウントリの里 見学

市民イベント 同時開催



大学自然サークル 活動紹介

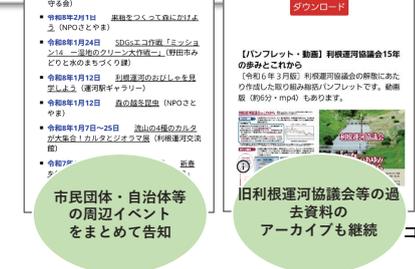
自然保護団体 活動紹介

市民イベント 同時開催

2. 令和7年度の取り組み概要（主な活動結果）

令和7年度より推進協議会の情報発信を開始しました。

- 利根運河周辺のさまざまな活動やその魅力、また推進協議会の認知度の拡大を目指し、ポータルサイトやニュースレターで定期的な情報発信・情報共有を継続（旧利根運河協議会のアーカイブも配信）しました。
- 運河流域エリアにおけるコウノトリ自然繁殖が進んでいるなか、促進を応援するため、観察・撮影される方へのマナー啓発のためのチラシを配布しています。 <https://sites.google.com/view/nnap-toneunga>



2. 令和7年度の取り組み概要（主な活動結果）

自然と人を育む地域づくり推進協議会関連会議の実施状況（令和7年度）

会議	日時	場所等
第1回自然環境検討部会	令和7年7月14日	江戸川河川事務所（WEB併用）
第1回地域振興検討部会	令和7年7月15日	江戸川河川事務所（WEB併用）
第2回自然環境検討部会	令和7年12月2日	江戸川河川事務所（WEB併用）
第2回地域振興検討部会	令和7年12月12日	江戸川河川事務所（WEB併用）
第3回推進協議会	令和8年2月18日	江戸川河川事務所（WEB併用）



第1回自然環境検討部会



第1回地域振興検討部会



第2回自然環境検討部会



第2回地域振興検討部会

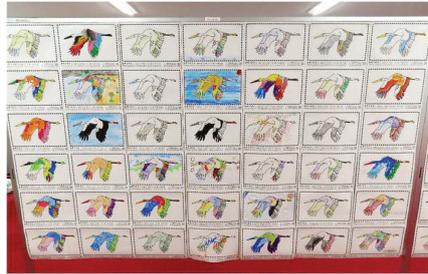
3. 令和8年度の取り組み（主な現時点案）

野田市、流山市、柏市、東京理科大学、民間企業、地域で活動するNPO法人、自然保護団体、市民と協働し、さらなる推進協議会の活動の認知と拡大を目指し取り組みを進めてまいります。

- ① **生きもの調査体験の推進**：調査体験会（予定：こうのとりの里）を開催するとともに、各市・団体の活動の相互連携を図ります。
- ② **利根運河の希少種・外来種対策**：地域の方が参加できる外来植物除去活動を企画するとともに、市民団体の希少植物保全活動を協議会関係者で支援（参加・協力）します。
- ③ **利根運河の利活用促進の検討**：本年度実施した東武健康ハイキングを活かし、さらに地域連携によって利活用を促進する方策について関係者間で相談・調整していきます。

令和7年度 荒川流域エリアにおける取り組み報告

～荒川流域の空にコウノトリを羽ばたかせよう～



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

Ecological Network Association in Arakawa

荒川流域エコネット地域づくり推進協議会（事務局 荒川上流河川事務所）

掲載した内容は、次回推進協議会（R8.3）にて報告・審議する予定でとりまとめ中の現時点案の情報です

1. 荒川流域エリアにおける行動計画（アクションプラン 2021～2030）

（1）取り組みの経緯

平成29年度 推進協議会の設立

- ◎荒川流域エコネット地域づくり推進協議会（以下、推進協議会）の設立

令和2年度 WGの設立・アクションプランの策定（R3.3）

- ◎荒川流域エリア・ワーキングの設置（学識者、市民団体、自治体、河川管理者）
- ◎荒川流域エコネット地域づくり推進協議会においてアクションプランを承認

令和3年度～ アクションプランの推進

- ◎推進協議会、ワーキングにおいて意見交換しながら具体的な取り組みを推進



【関係機関】

学識経験者、鴻巣市、桶川市、北本市、川島町、吉見町、埼玉県、国土交通省
【オブザーバー】
行田市、農林水産省、環境省

（2）荒川流域エコネット地域づくりアクションプラン

生物の生息環境保全に関する行動計画

プラン① 合同生きもの調査の実施



プラン② ゴミ・外来種問題への対応



プラン③ 環境学習・観察会の推進支援



ベースとなる 取り組み

協議会関係者による
これまでの活動継続

（河川や農地、里山林、
公園等における環境保全
に関する各種活動）

地域振興・経済活性化に関する行動計画

プラン④ 各種広報の展開



プラン⑤ エコツアーの推進支援



プラン⑥ 関係者間のネットワーク支援



ベースとなる 取り組み

協議会関係者による
これまでの活動継続

（自然の恵みを活かした
観光・商業等の地域振興
に関する各種活動）

2. 令和7年度の取り組み概要（主な活動結果）

(1) エコネット生きもの調査体験会の開催【プラン① 合同生きもの調査の実施】

◎田んぼと川のつながりや里山・谷津の生きものについて学ぶ「エコネット生きもの調査体験会」を開催。※一般公募により親子連れなど約70名が参加

- 目的：荒川流域エリアにおける、コウノトリ等の多様な生物の生息場づくりの推進を目的として、広く地域関係者を対象に、里山の生物多様性をテーマに、森林・湖沼、水田、谷津や河川（荒川）に生息する水生生物、およびその生息場の連続性（生態系ネットワーク）の大切さについて、現地で体験する学習機会を提供。
- 北本市会場：令和7年7月13日（日）北本市 緑のトラスト保全第8号地周辺
- 吉見町会場：令和7年6月29日（日）吉見町 八丁湖周辺（黒岩地域水田～八丁湖公園内）



谷津の調査体験（北本市高尾）

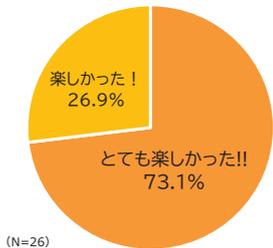


水田の調査体験（吉見町内黒岩）



種のリストづくり

【問】今日の会は、楽しかった？
またやってみたいですか？



【問】今日の会で知ったこと・感じたことをおしえてください（複数回答あり）



- 北本市の身近な場所にこんな多くの生物、自然があることを実体験を通して知ることができ、親子で大変貴重な経験ができました。
- 北本にも自然はまだ残っていて、生きものや自然に関心になりました。
- 魚の見分け方が分かって楽しかったです。
- めずらしい生きものを一緒にさがして保護をするイベントがあれば楽しそう。

参加者のこえ（アンケート調査結果抜粋）

エコネット 生きもの調査 in 体験会
6月29日(日) 9:30~11:30
 集合場所：吉見町 八丁湖公園 駐車場
 参加費：無料
 申し込み方法：QRコードまたはURLよりお申し込みください。https://forms.gle/xsdcz71Aakxrk6K6
 主催：吉見町・荒川流域エコネット地域づくり推進協議会

【5カ年まとめ(2021~2025年)】

- ◎自然環境の現状と保全の必要について広く啓発。計6回でのべおよそ230名が参加（流域エリアの親子等）。
- ◎流域に生息する生物データを蓄積。各市町の調査地で確認種リストを作成。多い場所では希少種を含め約90種を記録。

2. 令和7年度の取り組み概要（主な活動結果）

(2) ごみ・外来種対策の連携促進【プラン② ごみ・外来種問題への対応】

◎荒川流域の外来種やプラスチックごみ問題の意識啓発用の資料・教材を作成し、エリア内のイベント出展時や小学校の出前講座、外来種駆除・清掃活動等にて配布・展示（市町県においても教材を活用した学習イベント等を展開）。



鴻巣市 とうのりマリン (R7.10)

イベント出展



吉見町生物多様性パネル展示 (R7.9)

パネル展示



協議会関係者との協働

あそびかた
 生きものをつかまえてみる
 わんがえよう！
 つかまったら外来種(どくろいしゅ)か外来種(どくろいしゅ)にわけよう
 どうかな？
 外来種(どくろいしゅ)は、もともと日本にいなかった生きもの。もともと日本にいなかった生きもの。なぜやっつけたのか？
 チェックして
 食べられるか？ ペット(おそらめ) 何か(おそらめ) その他(おそらめ)
 外来種(どくろいしゅ)は、もともと日本にいなかった生きもの。もともと日本にいなかった生きもの。なぜやっつけたのか？

(3) 環境学習の推進支援【プラン③ 環境学習・観察会の推進支援】

◎流域内の小中学校計28校約1,400名の児童・生徒へ生物多様性と生態系ネットワーク解説資料（5市町の指標種缶バッジ付属）の配付やポスター掲示を実施。

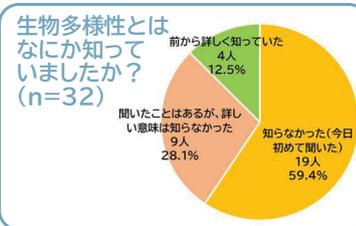
◎エコネット出前講座などの学習支援を実施（埼玉県環境学習応援隊に登録）。



エコネット出前講座



指標種缶バッジの例



小学生アンケート調査結果(一例)

自然と共生する地域づくり
 生物多様性はなぜ大切？
 エコネットのネットワークで守る生物多様性
 自然環境のつながり(エコネット)をコソリの目線でも見る
 自然環境のつながり(エコネット)をコソリの目線でも見る

2. 令和7年度の取り組み概要（主な活動結果）

(4) エコネット地域づくりの取り組み広報【プラン④ 各種広報の展開】

- ◎推進協議会関係者との連携によるイベント出展・運営、広報用資料の作成・情報配信等の広報活動を実施。
- ◎推進協議会の取り組み内容を幅広く広報していくため、ポータルサイトとSNS（Instagram、X）を活用。
- ◎アクションプランの取組み指標とするため、アンケート調査を実施（令和8年1月13日現在の回収数：846票）。



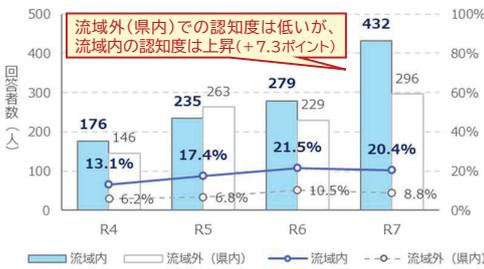
イベント出展

関係者との連携

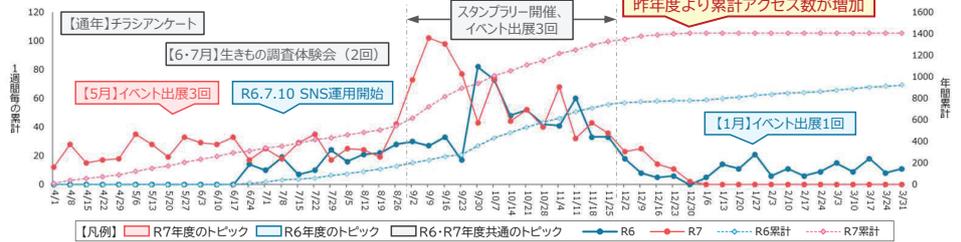
ポータルサイトの運営

SNSを活用した情報発信

アンケート調査



【参考1】推進協議会認知度（流域内外比較）



2. 令和7年度の取り組み概要（主な活動結果）

(5) 周遊観光の促進【プラン⑤エコツアーの推進支援】

- ◎自然環境や地域の文化を知っていただく機会として、広域周遊型のデジタルスタンプ&クイズラリーを企画・開催（参加者196名）。
- ◎情報収集したイベント開催予定等をポータルサイトに掲載し、情報共有。



デジタルスタンプ&クイズラリー開催

企画に関するご意見(抜粋)

- 子どもたちと一緒に勉強&スタンプラリー出来て楽しかったです。子どもたちは初めての場所も多く、スタンプラリーきっかけで行くことが出来て良かったです。
- 普段、荒川を自転車で走ることが多いのですが、クイズで生息する生物など知ることができとても興味深かったです。



(6) 関係者間の連携促進【プラン⑥関係者間のネットワーク支援】

- ◎流域内外で開催されているイベントへの出展や、イベントの企画を通じて新たな連携・交流を促進。



【初出展】おけがわ春のふれあいフェスタ(流域内)
※推進協議会関係者も出展する鴻巣市や吉見町のイベント出展や、CESSとの連携企画も実施



【初出展】武州ガスまつり(荒川流域エリア外)
◆新たな連携・交流のあった機関:株式会社武州ガス、埼玉県生態系保護協会(武州・入間川プロジェクト)



【推進協議会企画】荒川エコネット スタンプラリー(流域内外)
◆新たな連携・交流のあった施設(7施設):道の駅「べに花の郷おけがわ」(桶川市)、道の駅「いちごの里よしみ」(吉見町)、金箔しようパーク(川島町)、さいたま水族館(羽生市)、コウノトリ交流館(桶川県小山市)、こうのとり(千葉県野田市)、荒川知水館amoa(東京都北区)
◆新たに連携した行政関係者(2自治体):小山市 ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課、野田市 みどり水のまちづくり課

3. 令和8年度の取り組み計画

◎第8回荒川流域エコネット地域づくり推進協議会（令和8年3月）を開催予定。本年度活動結果・来年度活動計画とともに、アクションプランの進捗について確認し、地域関係者との意見交換を図る。

◎来年度も、生きもの調査体験会やゴミ・外来種対策、地域振興に関する取り組みを継続するとともに、その内容や対象範囲を広げる工夫を図っていく。

プラン	令和8年度予定（概要）
プラン① 合同生きもの調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●生きもの調査体験会を開催するとともに、各各市町・団体における調査データを収集・追加するなどし、生物データ整理(流域DBの構築)を進める。 ※生きもの調査体験会で得られた結果がより広く地域に伝わるような工夫も検討していく。
プラン② ゴミ・外来種等の環境問題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●各各市町・団体による清掃活動や外来種駆除活動において、作成した啓発用資料や教材を活用する。(各各市町・団体等へ資料送付するとともに、一部、事務局が参加・解説する。) ※ごみ・外来種だけでなく、「自然と人との関わり方」に関する地域啓発も検討していく。
プラン③ 環境学習・観察会の推進支援	<ul style="list-style-type: none"> ●各各市町・団体による環境学習・観察会において、作成した啓発用資料や教材を活用する。 ●小中学校と連携した教育・普及を推進する(出前講座対応の継続等)。
プラン④ 各種広報の展開	<ul style="list-style-type: none"> ●広報資料の配布・展示など、エコネットに関する情報発信を継続する。 ●各種取り組みの評価指標とするための住民アンケート調査を継続実施する。
プラン⑤ 地域振興の推進支援	<ul style="list-style-type: none"> ●周遊観光と地域連携を促す企画(スタンプラリー等)を開催する。 ●地域関係者による観光振興の取り組みの情報共有を継続する。
プラン⑥ 関係者間のネットワーク支援	<ul style="list-style-type: none"> ●イベントの企画や出展等を通じて、新たな連携・交流を図る。 ●連携状況や取組み内容の見える化(ポータルサイトに情報掲載)を継続する。
ベースとなる取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●協議会関係者それぞれによる関連事業の推進(および推進協議会での情報の収集・共有) ●取り組み効果分析に関する検討

↑アクションプランの進捗を踏まえ、プランをより充実（青字）させることも検討中。